

地球科学科

学科のアドミッション・ポリシー(AP: 入学者受入の方針)

<求める入学者像>

1. (学力の基盤) 学士課程の理学を自律的に学ぶための基礎となる高等学校レベルの数学および自然科学を修めている。
2. (論理的思考力) 物事を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。
3. (科学に生きる意志) 地球科学やその関連分野に強い興味を持ち、健全な社会・文化の発展のために科学・科学技術を役立てたいと考えている。

学科のディプロマ・ポリシー(DP: 卒業認定・学位授与の方針)

<学科の教育理念と教育目的>

近年、地球環境問題や自然災害に関する一般市民の意識が高まっています。これらの問題に対応するには、まず我々の住んでいる地球の姿や歴史を理解することが必要です。

地球科学科では、太陽系や地球の誕生過程、地球の内部構造とそのダイナミクス、地殻および地球表層部の変動のメカニズム、地球の歴史や生物の変遷を学び、基礎地球科学の理解を目指します。その基礎知識をもとに、地球を地質学的な手法のみならず、数学・物理学・化学・生物学などの様々な視点や手法を用いて解析し、地質学的な時間・空間スケールの現象を解明していくことを目標としています。

この目標を達成するため、地球科学科では地球科学主コースおよび生態環境科学コースの2つの教育コースを用意しています。卒業後の進路は様々ですが、過去10年間で最も多いものは地質・建設コンサルタントを代表とする地球科学分野に関わる高度に専門的な職業です。

<学習の到達目標>

1. (科学的知性) 地球科学を中心に基礎科学的な知識を体系的に身につけ、それらを基盤にして地球科学に関する知識と技能を自立的に発展させることができる。
2. (科学的解決力) 主として地球科学に関連する事象に関して、科学的原理・原則に基づいて課題を探究し、実証的な調査・研究を通じてそれを解決に導くことができる。
3. (科学する者の自覚) 身の回りの事象にひろく関心をもち、「科学的なものの考え方」をもってこれらを合理的に分析・評価することができる。また、この能力を学問・教育あるいは産業界に役立てることができる。